

## 宗教的理由等による輸血拒否に関する 当院の方針

■防衛医科大学学校病院は、輸血を含む標準的な医療の提供を原則としており、輸血拒否の患者さんに対しても、輸血なしでは生命の維持が困難となった場合には輸血を行う

**「相対的無輸血」**を基本方針といたします。

■輸血拒否の患者さんには、無輸血治療のため最善の努力を尽くしますが、輸血により生命の危険が回避出来る可能性があるかと判断した場合には、当院において輸血を含む治療を継続して頂くか、他医療機関へと転院して頂くかの選択をお願いすることとなりますので、ご理解とご協力の程、宜しくお願いいたします。